

事務事業実績測定調査

10315030010	障害児等関係機関ネットワーク事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	51.障害児等が健やかに育つことができる環境づくりを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1978 (S53) 年度		～		
根拠法令等	児童福祉法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子ども自身や家族に関与した機関から、適切な情報提供を行ったり連携を深めることで、必要な支援を行うことで、家庭生活、社会生活の安定につなげていく。				
事業概要	障害児およびその家族が抱える様々な問題に対応し、その早期解決とともに障害児等が地域で生き活きと生活できる環境づくりの推進を目的として、福祉・保健・教育を担当する機関が連携し、ネットワークを強化している。実務者会議、代表者会議、関係機関研修、施設見学、事務局会議等を行っている。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	家庭生活、社会生活の安定に繋がり相談終了となった件数。					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	—	10	10	10		
実績	18					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.30	0.40	0.30
正職員数	0.30	0.40	0.30
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,362	3,180	2,405
正職員人件費(換算額)	2,362	3,180	2,405
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	45	45	46
■事務事業の総計(千円)	2,407	3,225	2,451
国庫支出金	22	20	24
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,385	3,205	2,427

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	180.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	家庭生活、社会生活の安定に繋がり相談終了となった件数。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	障害児及びその家族の抱える様々な問題に対し、福祉・保健・教育を担当する機関が連携し、家庭生活、社会生活の安定のため、相談支援に繋げる。	

事務事業実績測定調査

10315040006	家庭児童相談業務		
測定年度	2019 (R1) 年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	52.子育てに対する相談体制の充実を図るとともに、子育て世帯が交流できる場を確保するなど、地域の子育て支援を進めます。	
	実行計画事業名	児童家庭相談体制の強化および児童虐待防止推進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1966 (S41) 年度		~		
根拠法令等	児童福祉法第10条第1項第3号、市町村児童家庭相談援助指針				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	家庭における安定した養育ができることにより、適正な親子関係を育むとともに、児童虐待の予防・防止にもつながる。				
事業概要	子どもへのプレイセラピー・発達検査・心理検査や保護者への助言・カウンセリングを実施。児童虐待の防止や対応を行っている。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	家庭における安定した養育ができることにより、適正な親子関係を育み、相談終了となった件数。					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	—	167	167	167		
実績	245					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	5.45	7.60	7.55
正職員数	2.65	3.00	2.55
非正規職員数(計)	2.80	4.60	5.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.30
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	2.80	4.60	4.70
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	28,950	36,862	35,552
正職員人件費(換算額)	20,866	23,853	20,443
非正規職員人件費(計)	8,084	13,009	15,109
再任用職員人件費(換算額)	0	0	1,529
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	8,084	13,009	13,580
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	522	1,591
■事務事業の総計(千円)	28,950	37,384	37,143
国庫支出金	3,045	7,024	13,418
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	25,905	30,360	23,725

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	146.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	家庭における安定した養育ができることにより、適正な親子関係を育み、相談終了となった件数。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	家庭における安定した養育ができることにより、適正な親子関係を育むとともに児童虐待の早期発見、防止に努める。	

事務事業実績測定調書

10315040007	土日夜間電話相談事業		
測定年度	2019(R1)年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	52.子育てに対する相談体制の充実を図るとともに、子育て世帯が交流できる場を確保するなど、地域の子育て支援を進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2004(H16)年度		~		
根拠法令等	母子及び寡婦福祉法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	夜間や休日でも気軽に相談できる場を設けることで、育児不安などの解消し、安定した子どもの養育ができる。				
事業概要	ファミリーポートひらかたにおいて、土日・夜間電話相談を実施することにより、あらゆる子育てに関する相談受付やアドバイスをを行っている。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	土日夜間電話相談の完了割合 【算出式:】相談が完了した件数/相談を受けた件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	100					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.10	0.10
正職員数	0.10	0.10	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	787	795	802
正職員人件費(換算額)	787	795	802
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	2,687	2,687	2,934
■事務事業の総計(千円)	3,474	3,482	3,736
国庫支出金	1,343	1,345	1,466
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,131	2,137	2,270

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	土日夜間電話相談が完了した件数370件/相談を受けた件数370件	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	広報活動を強化し、相談ニーズに的確に対応する。	

事務事業実績測定調書

10315050001	育児支援家事援助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	53.子どもの人権擁護の推進を図るため、児童虐待等の問題に対し、発生予防、早期発見、早期対応の取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	児童家庭相談体制の強化および児童虐待防止推進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2009 (H21) 年度		～		
根拠法令等	児童福祉法第21条の10の2				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	良好な親子関係を育み、安定した乳幼児の養育ができる。				
事業概要	3歳未満の乳児がいる支援が必要な家庭に対し、掃除、調理などの家事援助や沐浴補助、おむつ交換などの育児援助を行うとともに、子育て情報の提供を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	支援対象全世帯における訪問割合 【算出式:】延べ訪問回数/延べ訪問計画回数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	100					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.25	0.20	0.20
正職員数	0.25	0.20	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.10
再任用職員数	0.00	0.00	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,969	1,590	1,312
正職員人件費(換算額)	1,969	1,590	802
非正規職員人件費(計)	0	0	510
再任用職員人件費(換算額)	0	0	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	90	18	225
■事務事業の総計(千円)	2,059	1,608	1,537
国庫支出金	30	60	75
府支出金	30	60	75
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,999	1,488	1,387

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	支援が必要な世帯数 7世帯 支援対象全世帯に対する総訪問回数 50回	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	本事業による支援が必要な家庭を的確に把握し、本事業に繋げられるよう努力する。	

事務事業実績測定調書

10315050003	子育て短期支援事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	53.子どもの人権擁護の推進を図るため、児童虐待等の問題に対し、発生予防、早期発見、早期対応の取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	児童家庭相談体制の強化および児童虐待防止推進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1996 (H08) 年度		~		
根拠法令等	児童福祉法第34条の9				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	一時的に児童を保護・養育を行うことにより、保護者が安心して社会活動を行えるようになる。				
事業概要	保護者の疾病等により家庭における養育が一時的に困難になった場合、枚方市が委託契約している8か所の施設において、保護者の申し出により、一定期間預かっている。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	保護者がショートステイ・トワイライトステイの利用申し込みをし、利用できた割合 【算出式:】利用した延べ日数/申し出のべ日数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	100					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.65	0.75	0.75
正職員数	0.55	0.75	0.75
非正規職員数(計)	0.10	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.10	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	4,331	5,963	6,013
正職員人件費(換算額)	4,331	5,963	6,013
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	5,362	3,888	5,430
■事務事業の総計(千円)	9,693	9,851	11,443
国庫支出金	932	658	859
府支出金	932	658	859
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	7,829	8,535	9,725

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	保護者のショートステイの申し出利用延べ件数 508件 年間にショートステイを利用した延べ日数 508日 保護者のトワイライトステイの申し出利用延べ件数 61件 年間にトワイライトステイを利用した延べ日数 61件	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	必要としている人に適切に情報が周知されるような広報を行う。	

事務事業実績測定調査

10315050004	児童虐待防止ネットワーク事業		
測定年度	2019(R1)年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	53.子どもの人権擁護の推進を図るため、児童虐待等の問題に対し、発生予防、早期発見、早期対応の取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	児童家庭相談体制の強化および児童虐待防止推進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1998(H10)年度		～		
根拠法令等	児童福祉法25条の2				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	児童虐待に対し、関係機関の連携や研修会等の啓発活動を通じて児童虐待への理解と意識の浸透を図り、結果として発生予防、早期発見、早期対応が行われている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待の防止のための関係機関との連携 児童虐待問題連絡会議代表者会議 2回 児童虐待問題連絡会議実務者会議 12回 児童虐待問題連絡会議拡大実務者会議 6回 ネットワークで見守る全ケースの援助方針確認会議 3回 関係機関を対象とした児童虐待問題研修会 2回 市民を対象とした子育て支援研修会 1回 虐待対応業務専門研修 9回 枚方市児童虐待防止マニュアル改訂版を用いた関係機関向け研修内容の立案 				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	家庭児童相談延べ件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	—	27,868	27,868	27,868		
実績	24,211					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	5.50	6.60	5.70
正職員数	3.40	3.60	3.30
非正規職員数(計)	2.10	3.00	2.40
再任用職員数	0.00	0.00	0.40
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	2.10	3.00	2.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	32,835	39,067	34,274
正職員人件費(換算額)	26,772	28,624	26,456
非正規職員人件費(計)	6,063	10,443	7,818
再任用職員人件費(換算額)	0	0	2,039
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	6,063	10,443	5,779
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	781	1,056	992
■事務事業の総計(千円)	33,616	40,123	35,266
国庫支出金	4,984	8,648	2,810
府支出金	2,700	2,530	2,679
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	25,932	28,945	29,777

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	87.00%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	家庭児童相談延べ件数 24211件	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	児童虐待防止のための各種会議や啓発活動等を実施し、発生予防、早期発見、早期対応に努める。	

事務事業実績測定調書

10315050005	親子支援プログラム事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	53.子どもの人権擁護の推進を図るため、児童虐待等の問題に対し、発生予防、早期発見、早期対応の取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	児童家庭相談体制の強化および児童虐待防止推進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2009 (H21) 年度		～		
根拠法令等	児童福祉法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子どもへの適切な関わり方について学んでもらうことにより、親子関係の改善につなげるとともに、虐待を予防することにもつながる。				
事業概要	<p>親向けに、子育ての方法や感情コントロールのスキルを学ぶプログラムや、子どもを傷つけてしまう親の回復支援プログラム等の実施や情報提供を行う。</p> <p>また、子ども向けに、子どもが自尊心をはぐむために、感情コントロールや親との関係、友達との関係のとり方等のスキルを学ぶためのプログラムを実施する。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	支援プログラム参加者の子育てや親子関係の対応に関する理解度 【算出式:】理解したと回答した参加者数 / 全参加数 × 100					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	90					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.80	1.10	1.00
正職員数	0.80	0.70	0.70
非正規職員数(計)	0.00	0.40	0.30
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.20	0.40	0.30
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	6,876	6,578	6,479
正職員人件費(換算額)	6,299	5,566	5,612
非正規職員人件費(計)	577	1,012	867
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	577	1,012	867
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	1,640	1,121	945
■事務事業の総計(千円)	8,516	7,699	7,424
国庫支出金	894	1,049	366
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	7,622	6,650	7,058

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	90.00%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	親子支援プログラム開催回数 24回 親子支援プログラムへの参加者数 113人	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	親支援プログラムにおいては、様々なプログラムの中から親の状況に合わせた適切なものを選択して提供し、同時に効果測定を行う。また、子ども向けプログラムにおいては、子育て運営課等の関係部署との調整を行い実施する。	

事務事業実績測定調書

10315050006	「(仮称)子どもを守る条例」制定事務		
測定年度	2019(R1)年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	53.子どもの人権擁護の推進を図るため、児童虐待等の問題に対し、発生予防、早期発見、早期対応の取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2019(R1)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	児童虐待やいじめなどから子どもが守られ、生命や心身の発達に重大な影響を及ぼすような事案が発生しない状態。				
事業概要	令和元年度中から令和2年度にかけて、プロジェクトチームによる検討や審議会からの意見聴取の他、パブリックコメントや市民説明会などを実施した上で、令和2年度中の条例制定を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	児童虐待相談件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—		

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	0.00	0.30
正職員数	0.00	0.00	0.30
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	0	0	2,405
正職員人件費(換算額)	0	0	2,405
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	0	0	2,405
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	2,405

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	プロジェクトチームにて条例制定の方向性を検討した。	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	令和元年度11月にプロジェクトチームを立ち上げ、計5回会議を行った。 令和2年3月にプロジェクトでまとめた提案を市長に報告し、条例制定の方向性を示した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	令和2年度に子ども子育て専門分科会や市民アンケート、パブリックコメント等を実施し、令和3年4月の施行を目指して取り組む。	

事務事業実績測定調書

10315060008	ひきこもり等子ども・若者相談支援事業		
測定年度	2019(R1)年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	54.ひきこもりや若年無業者(ニート)の社会的自立に向けた支援を行うとともに、子どもの貧困対策を推進するなど、子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づくりを進めます。	
	実行計画事業名	子ども・若者育成支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2013(H25)年度		～		
根拠法令等	子ども・若者育成支援推進法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	相談を通じて、子ども・若者一人ひとりが、自分らしく自立している状態。				
事業概要	<p>平成25年4月に「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」を設置し、おおむね15歳から39歳までのひきこもり、ニート、不登校等の子ども・若者やその家族等の相談に応じ、継続して対応方法や社会的自立に向けた支援を進めるとともに、ひきこもり等子ども・若者への具体的な支援を行うため、平成24年6月に設置した「枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議」と連携し、適切な支援機関につなげるよう支援する。</p> <p>平成30年3月に改定した「枚方市子ども・若者計画～ひきこもり等の子ども・若者の自立に向けて～」に基づき、ニート・ひきこもり等の対策を推進するとともに、周知・啓発活動を行う。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	「枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」で相談を受けている利用者が来所時より自立方向に変化した人の割合。 【算出式:】利用者の内、来所時より自立方向に変化した人／利用者全数×100					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	50	50	50		
実績	65.5					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	4.60	5.46	5.30
正職員数	1.60	2.30	2.30
非正規職員数(計)	3.00	3.16	3.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	2.00	3.00	3.00
臨時職員数	1.00	0.16	0.00
■人件費総額(千円)	18,866	26,376	26,543
正職員人件費(換算額)	12,598	18,287	18,439
非正規職員人件費(計)	6,268	8,089	8,104
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	6,268	8,089	8,104
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	1,747	2,069	1,578
■事務事業の総計(千円)	20,613	28,445	28,121
国庫支出金	650	2,000	2,000
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	19,963	26,445	26,121

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	131.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	「枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」で受け付けた新規相談件数 152件 「枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」で受け付けたのべ相談件数 2663件	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	ひきこもりやニート、不登校の子ども・若者を早い段階で相談につなげ、自立にいたるまで一貫して支援すること、当事者を支える家族を支援するため、枚方市子ども・若者支援地域協議会の関係機関との情報交換や連携を図る。	

事務事業実績測定調書

10315060011	子どもの課題対策事業		
測定年度	2019(R1)年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	54.ひきこもりや若年無業者(ニート)の社会的自立に向けた支援を行うとともに、子どもの貧困対策を推進するなど、子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づくりを進めます。	
	実行計画事業名	子ども・若者育成支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度		～		
根拠法令等	子供の貧困対策の推進に関する法律				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	教育と福祉の連携をはじめ、子どもやその家庭の支援に携わる市の関係部署間や、関係機関同士の連携を強化することで、支援が必要な家庭を積極的に把握し、既存の支援制度を効果的に活用し、切れ目のない支援を提供できる状態。				
事業概要	子どもの貧困等の課題への対策として、「子どもの未来応援コーディネーター」を配置し、学校や子ども食堂等への巡回・訪問を通じて、生活習慣等の課題のある環境におかれた子どもを把握するとともに、教育と福祉の連携を図りながら、当該子どもに対して、福祉等の制度や関係機関へのつなぎなど、必要な支援を積極的に提供する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	当該子どもやその家庭に対し、関係機関や支援制度等の必要な支援につなげた件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	20	20	25	30		
実績	20					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.10	1.70	1.40
正職員数	1.00	0.70	0.70
非正規職員数(計)	0.10	1.00	0.70
再任用職員数	0.00	0.00	0.20
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	1.00	0.50
臨時職員数	0.10	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	8,081	7,773	7,956
正職員人件費(換算額)	7,874	5,566	5,612
非正規職員人件費(計)	207	2,207	2,344
再任用職員人件費(換算額)	0	0	1,020
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	2,207	1,324
臨時職員人件費(実額)	207	0	0
■直接経費(千円)	0	68	0
■事務事業の総計(千円)	8,081	7,841	7,956
国庫支出金	0	0	0
府支出金	2,034	1,142	1,302
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	6,047	6,699	6,654

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>子どもの貧困など、子どもを取り巻くさまざまな課題に対応するため、平成29年11月から子ども青少年部と教育委員会学校教育部の両方に所属する「子どもの未来応援コーディネーター」を配置。学校への巡回等を通じて生活習慣等の課題のある環境におかれた子どもを把握し、福祉等の支援制度や関係機関へのつなぎなど教育と福祉の連携を図るための体制を整備した。また、貧困の連鎖や虐待、不登校などの子どもが抱える課題に対して、関係部署が情報を共有し、連携した検討体制を構築する「子どもの課題対策検討委員会」の幹事会を1回開催し、その中で、各部署で抱える子どもの課題や対策について情報共有を行うとともに、朝食をとらずに登校する子どもへの支援について、各部署の立場から広く意見を聴取し、引き続き課題を整理しながら検討を進めることとした。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、教育と福祉の連携を図りながら、支援を必要とする子どもやその家庭に対する効果的な支援策の検討を進める。	

事務事業実績測定調査

10315060012	子どもの居場所づくり補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	54.ひきこもりや若年無業者(ニート)の社会的自立に向けた支援を行うとともに、子どもの貧困対策を推進するなど、子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づくりを進めます。	
	実行計画事業名	子ども・若者育成支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2016 (H28) 年度		～		
根拠法令等	枚方市子どもの居場所づくり推進事業補助金交付要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	定期的に家庭的な雰囲気の中で食事がとれ、学習支援や相談支援を受けることができる場となり、地域の大人たちが子どもたちを見守る環境が出来ている状態。				
事業概要	子どもの居場所づくりの一環として、家で1人で食事をとるなどの環境にある子どもに無償(中学生以下)での「食事の提供」等に取り組む団体(子ども食堂)に対し、その取り組みに必要な備品の購入等の初期経費のほか、食材費等の運営経費について補助金を交付する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	参加した子どもにおける事業の満足度 【算出式: 満足度の高いアンケート回答者数/アンケート回答者数】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.10	2.00	1.20
正職員数	1.10	1.00	0.50
非正規職員数(計)	0.00	1.00	0.70
再任用職員数	0.00	0.00	0.20
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	1.00	0.50
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	8,661	10,157	6,353
正職員人件費(換算額)	8,661	7,951	4,009
非正規職員人件費(計)	0	2,206	2,344
再任用職員人件費(換算額)	0	0	1,020
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	2,206	1,324
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	3,232	3,263	2,881
■事務事業の総計(千円)	11,893	13,420	9,234
国庫支出金	0	0	0
府支出金	2,965	4,035	2,881
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	46	0	0
一般財源	8,882	9,385	6,353

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p>令和元年度は、更新団体19団体に加え、新たに申請があった1団体に補助金交付を行い、20団体22箇所での実施となった。延べ開催回数は413回で、1回の開催当たりの子どもの平均参加人数は29人となった。</p> <p>さらに、各実施団体による取組みが効果的になされるよう、地域や小学校等との関係づくりを支援するとともに、食材の寄付やボランティアの募集、取次ぎを行うなど、団体の安定的な運営のため多方面からの支援を行った。</p> <p>また、令和元年度に認定した20団体のうち19団体から令和2年度の事業更新の申込みがあり、審査を経て19団体に対し更新の認定を行った。</p>	
今後の方向性	拡充・重点化	
具体的な 今後の取組方策	<p>ニーズを踏まえた子ども食堂の実施が必要となっており、必要とされる地域で取組みが行われるよう制度の周知など働きかけを行っていく。また、本事業は、各実施団体と、地域や小学校等の関係機関などの連携・ネットワークが欠かせないことから、引き続き、そのコーディネート支援に取り組む。また、団体の安定的、継続的な運営のため、食材の寄付やボランティアなど、さらなる支援の拡大に向けて取組みを進める。</p>	

事務事業実績測定調書

10315070003	ひとり親家庭自立支援給付補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	55.子どもの健やかな成長を支えるため、ひとり親家庭の自立に向けた取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	ひとり親家庭等自立支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2003 (H15) 年度		～		
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法第31条、第31条の10、枚方市ひとり親家庭自立支援給付金の支給に関する規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	支援を受けたひとり親家庭の親が安定した雇用形態において就労している状態。				
事業概要	母子家庭の母及び父子家庭の父の就業を支援するため、パソコン技術などの講座を受講する際の経費を支援する「自立支援教育訓練給付金」や看護師などの専門的な資格の取得に向け養成機関で修業する場合の生活費を支援する「高等職業訓練促進給付金」を支給する。また、養成機関修了後に「高等職業訓練修了支援給付金」を支給する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	申請者の内、講座受講修了者及び養育機関修了者の割合。 【算出式:】(講座受講修了者+養育機関修了者)÷申請者×100					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	64					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.50	0.50	0.50
正職員数	0.05	0.10	0.10
非正規職員数(計)	0.45	0.40	0.40
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.45	0.40	0.40
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,665	1,775	1,785
正職員人件費(換算額)	394	795	802
非正規職員人件費(計)	1,271	980	983
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	1,271	980	983
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	21,772	33,920	45,921
■事務事業の総計(千円)	23,437	35,695	47,706
国庫支出金	19,125	21,812	35,602
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,312	13,883	12,104

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	64.00%	50%以上80%未満 : やや低い
事務事業の実績	母子家庭の母及び父子家庭の父の就業を支援するため、パソコン技術などの講座を受講する際の経費の支援(12件)や看護師などの専門資格の取得に向け養成機関で修業する場合の生活費を支援(36件)。また養成機関修了時に修了支援給付金を支給(7件)。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方針	引き続き、適正に給付手続きを行い、母子家庭の母、父子家庭の父の就業自立を支援する。	

事務事業実績測定調書

10315070004	ひとり親家庭等就業・自立支援事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	55.子どもの健やかな成長を支えるため、ひとり親家庭の自立に向けた取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	ひとり親家庭等自立支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2014 (H26) 年度		～		
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法、枚方市母子福祉推進委員に関する要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	さまざまな困難な状況の段階的解決を目指し、適切な支援機関への接続を図るとともに、経済的自立を目指し、専門的資格を取得することで、安定した収入を得ることで、安心して子育てが出来る。				
事業概要	子ども総合相談センターにひとり親相談窓口を設置し、母子・父子自立支援員が離婚前相談、福祉資金の貸付、母子生活支援施設の入所事務など、同じセンター内の家庭児童相談など関係機関と連携し、就業支援やホームヘルパーの派遣などの自立支援を行うとともに、地域の身近な相談者である母子父子福祉推進委員の協力により、ひとり親家庭の親子が孤立しないように、重層的な支援を目指す。また、母子家庭等の総合的な支援を目的とする「母子家庭等就業・自立支援センター事業」については、府や他の中核市とともに、ひとり親の当事者団体でもある社会福祉法人に委託している。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	相談や講習会を通じて、技能の取得や就職が実現した人の数。					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	10	10	10	10		
実績	8					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.10	0.10
正職員数	0.05	0.05	0.05
非正規職員数(計)	0.05	0.05	0.05
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.05	0.05	0.05
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	536	520	524
正職員人件費(換算額)	394	398	401
非正規職員人件費(計)	142	122	123
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	142	122	123
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	1,851	1,870	1,873
■事務事業の総計(千円)	2,387	2,390	2,397
国庫支出金	894	894	1,012
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,493	1,496	1,385

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	80.00%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<p>1. 「母子家庭等就業・自立支援センター」で受け付けた相談延べ件数等</p> <p>①相談者数 25件 ②就業支援講習会 開催回数 12件 受講者数 5人 ③就業情報提供 46件 ④出張相談相談者数 2件</p> <p>2. 母子・父子自立支援員による相談 804件</p> <p>3. 「母子福祉推進委員」相談延べ件数 126件</p> <p>母子福祉推進委員研修 第1回(令和2年1月19日) 講師:藤本 就子、テーマ「ひとり親家庭のみなさんに役立つ法的な手続き」 参加人数33人(うち母子福祉推進委員25人)</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	ひとり親家庭等就業・自立支援事業を行い、ひとり親家庭等の自立支援と福祉の増進を図る。	

事務事業実績測定調書

10315070005	助産施設入所措置等事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	55.子どもの健やかな成長を支えるため、ひとり親家庭の自立に向けた取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	不明		~		
根拠法令等	児童福祉法第22条、児童福祉法の規定に基づく助産の実施に関する要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	制度の利用により出産費用が用意できる。				
事業概要	生活が困窮している妊産婦からの相談に応じ、助産施設への入所決定を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	入所決定した人の内、入所措置した人の割合。 【算出式:】入所措置数 / 入所決定数 × 100					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	100					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.60	0.60	0.60
正職員数	0.20	0.20	0.20
非正規職員数(計)	0.40	0.40	0.40
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.40	0.40	0.40
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,705	2,570	2,586
正職員人件費(換算額)	1,575	1,590	1,603
非正規職員人件費(計)	1,130	980	983
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	1,130	980	983
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	20,946	21,144	22,295
■事務事業の総計(千円)	23,651	23,714	24,881
国庫支出金	7,459	8,398	10,122
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	2,911	1,877	0
その他	0	0	0
一般財源	13,281	13,439	14,759

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	令和元年度実績 入所措置人数53人 (生活保護世帯 17人、市民税非課税世帯 36人)	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	児童福祉法に基づき、適正に助産施設への入所決定を行う。	

事務事業実績測定調書

10315070008	母子家庭厚生補助事業		
測定年度	2019(R1)年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	55.子どもの健やかな成長を支えるため、ひとり親家庭の自立に向けた取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	枚方市補助金等交付規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ひとり親家庭等が情報交換又は交流を行うことで、教養や福祉の増進が図れている。				
事業概要	市内在住の母子家庭等で構成される当事者団体が、情報交換や体験発表、交流を目的とする事業について、事業費の一部を補助する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	補助対象事業への参加者に対し、アンケート調査を実施する。その内、満足と回答した人の割合。 【算出式:】満足と回答した人数/参加者人数×100					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	70	70	70		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.05	0.05	0.05
正職員数	0.05	0.05	0.05
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	394	398	401
正職員人件費(換算額)	394	398	401
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	300	300	300
■事務事業の総計(千円)	694	698	701
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	694	698	701

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<p>平成21年度に補助金の見直しを実施し、補助額は事業費の1/2を限度としている。 補助金の交付対象となる事業は、枚方市母子寡婦福祉会が行う事業で、母子家庭が情報交換や体験発表、交流を目的とするものであり、令和元年度は同事業の決算額731,062円に対し、30万円の補助金を交付した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	枚方市母子寡婦福祉会と連携し、市内の母子家庭の方との交流の促進を図る。	

事務事業実績測定調書

10315070009	ひとり親家庭等日常生活支援事業		
測定年度	2019(R1)年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	55.子どもの健やかな成長を支えるため、ひとり親家庭の自立に向けた取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	ひとり親家庭等自立支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		~		
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法第17条、第33条、枚方市母子家庭等日常生活支援事業実施要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	家庭生活支援員の派遣により安定した生活が営めている。				
事業概要	ひとり親家庭及び寡婦が日常生活を営むのに一時的に支障が生じている場合に家庭生活支援員を派遣する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	家庭生活支援員利用対象世帯に対し、アンケート調査を実施する。その内、満足と回答した人の割合。 【算出式:】満足と回答した世帯数/利用世帯数×100					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	70	70	70		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.15	0.35	0.35
正職員数	0.10	0.10	0.10
非正規職員数(計)	0.05	0.25	0.25
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.05	0.25	0.25
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	929	1,407	1,417
正職員人件費(換算額)	787	795	802
非正規職員人件費(計)	142	612	615
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	142	612	615
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	39	1,547	1,857
■事務事業の総計(千円)	968	2,954	3,274
国庫支出金	621	728	780
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	60	89
その他	0	0	0
一般財源	347	2,166	2,405

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	ひとり親家庭や寡婦が日常生活を営むのに一時的に支障が生じている場合に家庭生活支援員を派遣する。令和元年度の登録世帯は18世帯で、利用実績は8世帯、延べ派遣回数218回。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	H29年度より母子家庭等日常生活支援事業と父子家庭生活支援員派遣事業を統合し、ひとり親家庭等日常生活支援事業として実施。ひとり親の自立に向けての援助と、各家庭の状況に応じた適切なサポートを行っていく。	

事務事業実績測定調書

10315070010	母子生活支援施設入所措置等事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	55.子どもの健やかな成長を支えるため、ひとり親家庭の自立に向けた取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	ひとり親家庭等自立支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	不明		~		
根拠法令等	児童福祉法第23条				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	母子生活支援施設への入所により、自立に向け安全で安定した生活を送ることができている。				
事業概要	母子生活支援施設は18歳未満の子どもを養育している母子家庭、または何らかの事情で離婚の届けができないなど、母子家庭に準ずる家庭の女性が、子どもと一緒に利用できる施設で、母子が安全で安定した生活を送れるよう、同施設と連携し、相談や援助を進めながら自立を支援する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	母子生活支援施設に入所している母子の状況について、施設や本人と面接を行った回数。					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	回
目標(予測)	1	1	1	1		
実績	1					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.70	0.80	0.80
正職員数	0.30	0.40	0.40
非正規職員数(計)	0.40	0.40	0.40
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.40	0.40	0.40
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,492	4,160	4,190
正職員人件費(換算額)	2,362	3,180	3,207
非正規職員人件費(計)	1,130	980	983
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	1,130	980	983
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	36,732	27,234	19,860
■事務事業の総計(千円)	40,224	31,394	24,050
国庫支出金	18,366	14,293	15,513
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	21,858	17,101	8,537

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>児童福祉法第23条に基づき、母子生活支援施設への入所決定を行った。 令和元年度利用世帯数7世帯 入所世帯の自立に向けた支援を行うため、本人や施設の担当者を訪問したり、関係機関と連携した取り組みが多かった。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	児童福祉法に基づき、適正に母子生活支援施設への入所決定を行う。	

事務事業実績測定調書

10315070011	母子父子寡婦福祉資金貸付事業		
測定年度	2019(R1)年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	55.子どもの健やかな成長を支えるため、ひとり親家庭の自立に向けた取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	ひとり親家庭等自立支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		～		
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法、母子及び父子並びに寡婦福祉法施行令、母子及び父子並びに寡婦福祉法施行規則、枚方市母子福祉資金、父子福祉資金及び寡婦福祉資金貸付規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子どもの修学などにかかる経済的負担が軽減され、教育の機会均等が図れている。				
事業概要	ひとり親家庭及び寡婦に対し、その生活の安定と向上のための用途(子どもの修学や就学支度、母親・父親自身の技能習得や転宅など)の資金について審査し、適正に貸付を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	貸付金の支給を行った人の内、修学している人の割合。 【算出式:】修学している人数/貸付金支給者数×100					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	97.4					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.50	1.90	1.45
正職員数	0.85	1.40	0.95
非正規職員数(計)	0.65	0.50	0.50
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.65	0.50	0.50
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	8,529	12,356	8,845
正職員人件費(換算額)	6,693	11,131	7,616
非正規職員人件費(計)	1,836	1,225	1,229
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	1,836	1,225	1,229
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	24,677	74,173	101,736
■事務事業の総計(千円)	33,206	86,529	110,581
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	20,716
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	40,145
一般財源	33,206	86,529	49,720

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	97.40%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<p>ひとり親家庭及び寡婦の自立促進と福祉の増進のため、母子父子寡婦福祉資金の貸付を行う。</p> <p>令和元年度貸付実績 (1)継続貸付 修学資金29件 (2)新規貸付 修学資金10件 合計39件</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	ひとり親家庭及び寡婦の福祉の増進を図るため、今後も適正な審査により、貸付業務を行う。	

事務事業実績測定調書

10315070012	母子父子寡婦福祉資金特別会計繰出金事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	55.子どもの健やかな成長を支えるため、ひとり親家庭の自立に向けた取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2014 (H26) 年		～		
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法、母子及び父子並びに寡婦福祉法施行令、母子及び父子並びに寡婦福祉法施行規則、枚方市母子福祉資金、父子福祉資金及び寡婦福祉資金貸付規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	一般会計からの繰出金が母子父子寡婦福祉資金特別会計へ適切に支出されている。				
事業概要	母子父子寡婦福祉資金特別会計に一般会計から繰出金を支出する。				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—		

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	0.00	0.05
正職員数	0.00	0.00	0.05
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	0	0	401
正職員人件費(換算額)	0	0	401
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	6,720
■事務事業の総計(千円)	0	0	7,121
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	7,121

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	一般会計から母子父子寡婦福祉資金特別会計へ繰出金を適切に支出した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、母子父子寡婦福祉資金特別会計への繰出金を適切に支出する。	

事務事業実績測定調書

10999990048	子どもの育ち見守りセンター運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	10900100	子どもの育ち見守りセンター子どもの育ち見守りセンター
総合計画体系	基本目標	9: 施策体系外	
	施策目標	99: 施策体系外	
	取り組みの方向	99: 施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が滞りなく円滑に進む				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 行政評価及び事業計画等に関する事務、庁内外への照会・回答処理事務 子ども総合相談センターの予算及び決算に関する事務、子ども総合相談センター職員の給与、休暇、人事、服務に関する事務 				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—		

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	6.10	3.55	3.70
正職員数	3.30	3.25	3.20
非正規職員数(計)	2.80	0.30	0.50
再任用職員数	0.00	0.00	0.20
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.80	0.00	0.00
臨時職員数	2.00	0.30	0.30
■人件費総額(千円)	31,181	25,841	27,018
正職員人件費(換算額)	25,984	25,841	25,654
非正規職員人件費(計)	5,197	0	1,364
再任用職員人件費(換算額)	0	0	1,020
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	5,197	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	344
■直接経費(千円)	1,753	1,345	1,919
■事務事業の総計(千円)	32,934	27,186	28,937
国庫支出金	1,255	541	6,174
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	42	30	0
一般財源	31,637	26,615	22,763

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	行政評価及び事業計画等に関する事務、庁内外への照会、回答処理事務をおこなった。 また、子ども総合相談センターの予算及び決算に関する事務、職員の給与、休暇、人事、サービスに関する事務についても適切に行った。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	適正かつ適切な業務運営に努める	